

【事業名】北条スポーツセンター落成記念イベント

「風早フェスタ in 北条スポーツセンター」

【市町名】松山市

【事業主体】『風早フェスタ in 北条スポーツセンター』実行委員会

【事業概要】

施設を活用した市民参加のスポーツ大会や、有名選手を招いたスポーツ教室、誰もが気軽に参加できるスポーツ体験コーナーなどのスポーツ関連イベントをはじめ、タレントを活用したステージや地域活力を用いた地域と一体となったイベントを展開した。

オープニングセレモニー

スポーツ教室・トークショー（福西崇史氏・佐伯美香氏）

「ひめキュンフルーツ缶」によるミニコンサート

グルメ屋台イベント

【実施状況】

イベントチラシ



オープニングセレモニーの様子



福西崇史のサッカークリニック



グルメ屋台



【事業成果】

広報媒体を積極的に活用することで、落成記念イベントに約2,000名の方にご来場いただき、所期の目的である「施設認知度の拡大」に効果を得たほか、著名スポーツ選手によるイベント（トークショー・スポーツ教室）やスポーツポイントラリー・体力測定・健康づくり相談などの企画を通じ、青少年の健全育成、スポーツの普及振興や市民の健康増進（意識啓発）にも寄与できた。

また、伝統芸能やグルメ屋台の出店について、地元北条地域の方の協力を得ながら調整を進め、地域と一体的にイベントを実施することで、地域活力の醸成にも繋がった。

【事業名】 伊豫國「あじの郷」再発見協働事業

【市町名】 伊予市

【事業主体】 伊予市

【事業概要】

市民と民間企業（放送事業者）、行政（伊予市）の三者が対等な立場で連携し、それぞれの得意分野を活かしながら、下記のとおり新しい形の地域情報の発掘と発信を行った。

・ 啓発・発信

市民や学生が行う市内調査の進捗状況や、発掘された市内の「食の宝」について、市内外に積極的に発信することで、市内製品の消費拡大と交流人口の増加に向けた取組みを行った。

・ イベント（伊豫國あじの郷フェスタ）

伊予市が持つ「食の宝」について広く紹介するとともに、市外在住の来場客が、自らの地域の食文化と比較し、多様性を楽しむことで相互理解の促進が図れた。また地元住民に対しては、自らの地域の食文化を再認識するとともに、誇りと郷土愛を醸成するためのイベントを行った。

【実施状況】

南海放送「もぎたてテレビ」の取材風景



「あじの郷」フェスタには1万人超が来場



地元の高校生や大学生も参加



着ぐるみを活用したショーも実施



【事業成果】

電波放送を通して啓発及び情報発信を行ったことで、市内向けの広報活動だけでは伝わることのなかった市外在住者に対して、伊予市が行っている取り組みや魅力を伝えることができた。

特に、9月に実施したイベント『伊豫國「あじの郷」フェスタ』については、その前後に電波放送との連動企画（出展募集、特集放送など）を行うことで、イベント単独では得られない集客効果を得る事ができた。

【事業名】 東温フォトコンテスト

【市町名】 東温市

【事業主体】 東温市

【事業概要】

本事業は、一般の方に東温市内の風景等を撮影いただき、応募いただいたものの中から入賞作品を選定し、表彰する事業。

フォトコンテスト実施のPRを市内外に幅広く行い、多くの人に東温市内の様々な場所を巡っていただくことで、知名度の向上及び交流人口の拡大を図り、さらに日常の一場面を写真に収めていただくことで、市の新たな魅力の掘り起こしにつなげる。

写真募集

審査会の実施・表彰

【実施状況】

審査の様子



授賞式



受賞作品展



最優秀作品



【事業成果】

7道県から159人、675点の応募があり、当初想定していた300件という目標を大きく上回ったことから、幅広い地域の、多くの人に本市の魅力を感じてもらうことができた。

入賞作品については今後、ポスターの作成など、さらなる観光宣伝の手段として有効に活用していく。

【事業名】 石鎚山ヒルクライム事業

【市町名】 久万高原町

【事業主体】 石鎚山ヒルクライム実行委員会

【事業概要】

近年の健康志向や、環境に優しい乗り物として自転車への関心が高まっており、全国各地で山岳の特性を活かした自転車ヒルクライム競技が人気となっている。

そのような中、西日本最高峰「石鎚山」を有する久万高原町では、山の魅力はもちろんのこと、地域の振興・活性化を図るとともに地元住民と共同でイベントを運営することにより地域への愛着や誇りを醸成する機会とするため自転車ヒルクライム競技を開催。

クラス構成

- ・四国のでっぺんクラス 男女各クラス
- ・ロードレーサーの部 男性4クラス、女性1クラス
- ・MTBの部 男女各クラス

【実施状況】

競技スタート（四国のでっぺんクラス）



競技中の様子



地元女性によるうどんの提供



競技終了後のお楽しみ抽選会



【事業成果】

今回、コースとして使用した「石鎚スカイライン」は、石鎚山系の南麓を通るルートで、見る位置によりさまざまな形の石鎚山を楽しむことができ、参加者からは好評を得た。

また大会前には、地元ボランティアスタッフが自主的に草刈を行うとともに、当日の運営スタッフとしても多くの住民がかかわり、住民自らが地域イベントとして育てていく気概が見られた。

今後は、出場選手と地元住民の交流や地域振興を図るための前夜祭や、年間を通じてサイクリストが訪れたいくなるような自転車環境の整備などを検討していく。

【事業名】 防災ハンドブック作成事業

【市町名】 松前町

【事業主体】 松前町

【事業概要】

身近な防災の実践的知識等の情報を分かりやすくまとめたハンドブックを作成・配布し、住民の防災に関する「自助」の意識を高める。

持ち運びの利便性を考慮し、カード形式にした。

防災ハンドブックの作成 各世帯に配布

ワークショップの開催 防災ワークショップの開催

【実施状況】

| | |
|-------------------|-------------------|
| <p>防災ハンドブック完成</p> | <p>防災ハンドブック完成</p> |
| <p>防災ワークショップ</p> | <p>防災ワークショップ</p> |

【事業成果】

自らが行う事前対策や避難行動に重点を置き、ひとりひとりの防災意識の向上、知識の習得、避難所の周知に対して役立った。

また、配布後には住民からの問い合わせが多数あり、防災に対する関心や意識の向上が図れた。

今後も、防災ハンドブックを防災訓練や防災講座の教本として活用し、地域防災力の向上に努めていく。

防災ハンドブック配布数 12,000 戸

防災ワークショップ参加人数 67 人

【事業名】 坂村真民記念館広報PR事業

【市町名】 砥部町

【事業主体】 砥部町

【事業概要】

平成24年春の開館に向けて建設を進めている坂村真民記念館の宣伝を全国的に展開し、坂村真民記念館を全国に認知させ、全国の坂村真民ファンその他観光客を砥部町に誘致することにより砥部町の文化、観光、経済等の一層の振興を図る。

坂村真民記念館広告

真民グッズ(携帯ストラップ)の作成、雑誌等への掲載、パンフレット等の作成

観光レジャー分野・新聞・ホテルなど県内及び関西圏を中心に広報活動を実施

坂村真民記念館ホームページ作成 (<http://www.shinmin-museum.jp/>)

【実施状況】

| | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ホームページ作成・広告掲出</p>  | <p>イベント・開館式</p>  |
| <p>完 成</p>  | <p>完 成</p>  |

【事業成果】

様々な広報活動により、3月11日の開館以降10日間で2,691人の来館者があった。またオープン関連イベントにおいては、10日に開催したイベントでは約700人の参加があった。

坂村真民記念館のショップにおいては、真民詩を使用した砥部焼などの町産品が好評で、全国に向けた町産品のPRができ、県外から商品の問合せも多い。